

令和7年度 子ども・子育て会議 議事録

日時：令和7年12月3日(水)

午前10時00分～

場所：富士見町役場 302 会議室

1. 開会

<事務局>

ただいまから令和7年度第2回の富士見町子ども・子育て会議を開催します。本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

2. あいさつ

・教育長

富士見町教育委員会は、町長の住民との対話を大切にするという方針から、こども未来プロジェクト会議を実施しております。11月には町内4ヶ所でワークショップを行い子育て環境としての富士見町の素晴らしさを再確認しているところです。これらからは「帰りたくなるまちの実現」に向けた取り組みについてで行っておりますが、帰りたくなるまちを作っていくためには、学校教育はもとより、家庭教育そして地域の教育力の高まりが欠かせません。今後も皆様にお支えいただきますようお願い申し上げます。

3. 委員委嘱及び会長・副会長の選出について

<事務局>

それでは委員の委嘱にうつります。ご多用のところ委員をお引き受けいただき誠にありがとうございました。皆様には、令和7年9月から令和10年8月までの3年間子ども・子育て会議の委員を委嘱させていただきます。ここで新たに委員になられた方もいらっしゃるのので、自己紹介を行います。(委員及び事務局の自己紹介)

<事務局>

それでは、会長・副会長決めることとなっておりますので、ご協議いただきたいと思います。委員の皆さんの中で会長に立候補いただける方いらっしゃいますでしょうか。

→立候補なし

<事務局>

そうしましたら立候補がないようですので、事務局としての腹案を提示させていただきたいと思います。事務局案といたしましては、長年委員を務めていただいている名取あゆみ委員を会長に、佐久近子委員を副会長に推薦したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

→反対意見なし

<事務局>

それではこれで決定としたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

4. 協議事項

① 子ども・子育て会議について

<事務局>

新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、この会議の目的や役割などについてご説明します。

(会議の設置目的等について説明)

<事務局>

続いて昨年策定しましたこども計画について概要版をつけさせていただきました。この計画について三井から説明をさせていただきます。

(こども計画について説明)

② その他

<事務局> 次回の会議に向けて三井から説明いたします。

<事務局・三井>

本日の会議は皆さんの顔合わせと委嘱をメインにさせていただきましたが、次回からは子ども政策に関して協議や議論をしていく場としていきます。メインとして、子ども若者の意見募集が課題となっています。当事者である子どもや若者の意見を子育て政策に取り入れていくことを目的として、子ども若者の意見募集を行っています。今後、より良い政策反映を目指すために、質問項目や募集方法など、具体的にどのような方法を取ったらよいのかまたご意見を聞きたいと思います。子育て政策に関わっている皆様のご意見を聞いてより良いものにしていきたいと思いますので、次回会議の際に「こんな方法はどうか」というようなことを考えてきていただければと思います。次回は2月を予定しておりますのでまた1ヶ月前ぐらいにはご案内をさせていただきます。

<事務局>

続いて11月よりこども課が主催していますこども未来プロジェクト、住民ワークショップについて教育長よりお話をいただきます。

<教育長>

こども未来プロジェクト住民ワークショップは、親世代、祖父母世代、子どもも若者も全世代、全住民で考えていきたいと思いますという場になります。それぞれの会場で5、6人のグループを作り、付箋を貼りながら思いついたことをざっくばらんに話し合うワークショップ形式で開催しました。

第2回は子ども達が富士見町へ帰ってきたくなるような子どもに育てるにはどうすればいいかということ話し合っていきたいと思っています。そのための柱は三つあるかなと思います。一つ目の学校教育については、アントレプレナーシップ教育を通じて、富士見町のすばらしさや課題を知り、自身が貢献できるんだ、関われるんだという自覚を持たせたいなと思っています。二つ目は家庭教育であります。帰ってきたくなるというのは“家族がいるから帰ってくる”だと思います。家庭教育のあり方というのも本気になって考えないといけない時期に来ているんじゃないかと思っています。三つ目は地域です。生産人口が減り共稼ぎが当たり前になっていく中で、子育て世帯を支える仕組みとはどうあれば良いのかということもワークショップで話し合いたいと思っています。

皆様も12月のワークショップにご参加いただき、住民の皆さんと一緒に話をしてもらってどんなお考えをお持ちなのか聞いていただくとともに、皆様のお考えも聞かせていただければなと考えております。

<事務局>

ワークショップに参加された委員の方がいらっしゃれば、感想を共有いただけますか。

・佐久委員

保護者さんが多く出ると思ったんですが、子育てしている人たちには時間的なところが厳しいのかなと思いました。自分事として考えるってことが薄いかなって、自分事に考える世代の参加が少なく残念だった。教育に関する願いや、現状、ちょっと残念なところなど話をするとはできたが、課題の大きさを感じました。

・名取委員

グループに若いお母さんもいて、タブレットを使って世界と繋がるとか思いもよらない話が出てきた。それを実現可能かどうかは分からないけどそういう面白いことを言えて、みんなでシェアできる場があるのがすごくいいし、またそこに教育長がいてくれて、面白いねって言うてくれているのがすごくいいなって思いました。いろんな世代の方が集まって、まずは言いつばなしで意見を言う場があるっていうのは、町がそれをやっているっていうのがいい。乳児世代とか保育園世代のご家庭が来るのには少し難しい時間設定であったかなと思う。AIAIでやったりするとその世代は来やすいかと思う。

・山口委員

子育て世代にどういう風に周知しているのか。また、第二回 12 月 20 日の開催日は、町のいろんなイベントと重なりすぎているので、今後は調整していった方がいいと思う。

<事務局>

次第にはないのですが、11 月に行ったまちトークの様子を生涯学習課折井専任係長から共有をお願いします。

<折井専任係長>

- ・小学生、中学生、高校生、青少年の 4 つの枠で開催した。
- ・こどもの意見聴取と政策反映ということを目的に、意見表明の機会を作るために行うようになった。
- ・小学生は 8 人、中学生は 14 人(男子 13 人、女子 1 人)が参加してくれた。
- ・トークテーマは「自分で使うお金をどのように調達しているか」「自分で使えるお金があったら何に使うか」など。
- ・小学生はお小遣い制だったり、必要な時に親からもらう子が多い、シャープペンや習い事の用具を買ったり、買ってもらったという意見が多かった。
- ・中学生はトレーディングカードやパソコン、ヘアアイロン、スポーツ用具を買った、買ってもらったという意見が多かった。際限なくお金を持っているとしたら、親にお金をあげるとか、家がほしい、ゲームに課金、服とか趣味に使いたいという意見が出た。
- ・高校生の会でも投資するとか、起業するという意見は出ず、将来を見据えて…というところには意識が低く、まだ結び付いていないんだなと感じた。
- ・デート DV や結婚願望があるか、恋バナをするのかなど、昨年よりも突っ込んだ話が聞けた。
- ・政策反映するには母数が少ないので、開催方法を変更する予定。今年度は年明けにもう 1 回開催したい。
- ・青少年代は、自分たちで意見を言えるようになっていたのであまり開催する意味がなかった。

<事務局>

こちらで用意した議題は以上になります。子ども課長が参りましたのであいさつをお願いします。

・子ども課長

遅れて申し訳ありませんでした。子ども・子育て会議は皆さんに集まっていたいて、現状だやこれからの子育て支援のことなどいろんなこととお話をさせていただく貴重な機械だと考えています。ぜひ現状の課題に色々なご意見を出していただき、こども未来プロジェクトについて

も、ぜひお誘いあわせのうえご参加ください。

<事務局>

それではこちらで用意した会議事項以上となりますが、皆さんから何かありますでしょうか。

・山口委員

次回以降の会議の日程調整についてご意見あり。

<事務局>

その他ないようですので以上をもちまして本日の会議を閉じさせていただきます。お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。